

工場の片隅 昔か らの機械にネジが ハマる

とある工場で大きな五角形の機械が稼働していた。

その期間356年。

時代の変遷を見守り、

ひたすら田舎の丘の工場の片隅で稼働し続けた。

錆（さび）が入り、何度も修理を繰り返された。

その機械は靴を作る機械である。

世界に一つだけのオリジナルの靴である。

色はグレーをしている。

翌年、その機械は357年目の夏の真ん中に、

一つだけネジが足りないことが分かった。

誰も気づかなかったのである。

驚くことに、そのネジは稼働し始めたその時からずっと
となかったのである。

体験版は以上になります。ご読了ありがとうございます。
した。